

令和 6 年度大阪府大阪市医療・病床懇話会における主な意見（概要）

開催日時：令和 7 年 1 月 23 日（木）午後 2 時から午後 3 時 40 分

場所：J:COM 中央区民センター 2 階ホール

1 地域医療構想の推進に関する意見

【全体】

○地域医療構想の推進にあたり、大阪府の主な課題は、回復期病床への不足が見込まれること、高齢者に関して高齢者特有の疾患が増加することが見込まれていることとであり、さらに回復期への転換が必要で、急性期から回復期へ転換をどのようにすすめていくかが課題であるという考え方でよい。

【各病院の対応方針（病院プランにおける 2025 年に検討している病床機能等）】

（1）公立・公的病院

●特になし

（2）その他、民間病院等

●医誠会国際総合病院：

（病院への意見）

- ・令和 5 年度大阪府医療審議会での意見を受け、文書指導を含めた対応を検討することとなったが、いかがか。

（事務局回答）

昨年度までに計 2 回の文書指導を行っていたが要請に応じず、昨年度の大阪府医療審議会の意見を受け、今年度初めに大阪府から新病院である医誠会国際総合病院に対して病床機能の再検討について文書指導を行った。12 月に大阪府で聞き取りを行ったが、病床機能の変更予定はないとのことだった。また、病院連絡会においても、当病院に対し、急性期から回復期に転換する必要があるのではとの意見があったが、転換は困難との回答があった。

- ・城東中央病院においては、回復期・慢性期の病床を急性期病床へ転換し、全病棟が急性期に変更しており、過去の大阪府による文書要請にも応じていない。
 - ・NICU、MFICU 等の小児周産期に関しては、国において今後集約化の方向性となっており、大阪市域においても小児周産期の需要が将来減少すると推計されている中、NICU 等の病床を新設するのはいかがか。
- ⇒以上より、保健医療連絡協議会にて病院から説明を求めたい。

●原田病院：

（病院への意見）

- ・37 床と 10 床以上の過剰な病床への転換計画は望ましくなく、また病院連絡会を欠席し、転換計画について協議できていない状況のため、病院から直接説明を求めたい。

【保健医療協議会において対応方針について説明を依頼する病院】

- 医誠会国際総合病院（北区）
- 原田病院（中央区）

2 地域医療連携推進法人の認定についての意見

○これまで認定された地域医療連携推進法人の活動状況について、問題がある場合や、法人が解消されている場合等は、本懇話会に報告いただきたい。